

AI でデジタル OOH 広告審査業務を効率化！ LIVE BOARD×ドコモの共同技術開発に関するホワイトペーパーを公開

「責任ある判断を、より速く。AI で DOOH 広告審査業務を効率化する LIVE BOARD×ドコモの挑戦」



株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長 田中 淳泰 以下、LIVE BOARD）は「責任ある判断を、より速く。AI で DOOH 広告審査業務を効率化する LIVE BOARD×ドコモの挑戦」のホワイトペーパーを公開しました。

昨今、ビジネスシーンでの AI 活用が広がる中、LIVE BOARD は、株式会社 NTT ドコモ（以下、NTT ドコモ）と共同で、自社が運営するデジタル OOH^{※1}（以下、DOOH）の広告主審査に特化した AI 技術を開発しました。本取り組みでは、これまで専門知識を有する担当者が行ってきた審査業務に AI を活用することで、企業情報などの最新情報を元に数分で一次判定できる仕組みを構築し、業務の 3 割以上の効率化を目指しています。

本ホワイトペーパーでは、LIVE BOARD と NTT ドコモの開発メンバーに、開発の背景や技術的チャレンジ、そして AI を活用した広告審査の新しい可能性について伺った内容をまとめています。

LIVE BOARD では、今後も DOOH 市場の発展のため、調査内容や関連情報を提供していきます。

※1 Digital Out of Home の略。交通広告、屋外広告、商業施設などに設置されたデジタルサイネージを活用した広告媒体

■ホワイトペーパー構成

1. 広告主審査に求められる責任と専門性
2. スピードと正確性を両立する広告主審査 AI 技術
3. 広告主審査 AI 技術の次は？意匠審査 AI 技術への挑戦
4. LIVE BOARD×ドコモ AI 技術開発における今後の展望

■このような方におすすめ

- 広告の各種審査業務を担当されている方
- 生成 AI を活用した業務プロセスの自動化・効率化を推進したいと思案される方
- DOOH の最新技術トレンドを知りたい方

■レポートはこちら

<https://liveboard.co.jp/case/202602002837.html>

■株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現するデジタル OOH アドネットワークオペレーター



OOH 領域において国内で初めてインプレッション（VAC）※2 に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、"そのとき、その場所で、その広告を"見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった"ヒト"基点による配信を可能にしました。

※2 LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション（VAC=Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数）を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数（OTS=Opportunity to See）のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるべ人数（OTC=Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮）を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうべ人数（VAC）を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 田中 淳泰
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル 7 階
設立日	2019 年 2 月 1 日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問合せ先>

LIVE BOARD 広報事務局 担当：加藤・鏡

TEL：090-3050-8873 / 03-5843-0932 E-mail：info_press@liveboard.co.jp